[ねりかる]アート&カルチャーでねりまをもっと楽しく／(公財)練馬区文化振興協会情報誌

NERICUL

spring 01

What's NERIBUN?

(公財)練馬区文化振興協会とは

練馬区文化振興協会は、区民文化の向上と振興のための事業を行うことを目的として、昭和57(1982)年に練馬区が設立しました。練馬文化センターなどでの公演事業や、地域との連携事業などに取り組むほか、石神井公園ふるさと文化館、練馬区立美術館、さらに平成28(2016)年度からは練馬文化センターおよび大泉学園ゆめりあホールの指定管理者として管理運営を開始しました。区民の皆さまがより広い分野で文化を楽しみ、親しめるよう、様々な事業を展開していきます。

文化・芸術の中心

5施設を紹介

ねりぶん施設の魅力を聞きました！
発見、体験、思い出をつくろう！

練馬区文化振興協会で管理する施設は、全部で5施設あります。「ねりかる」創刊号の特集では、この5施設の概要と魅力について、各施設の担当者がたっぷりご紹介します。

観劇、鑑賞、主役になれる!?
まさに、練馬文化の中心施設

●練馬文化センター／大泉学園ゆめりあホール

練馬文化センター（大ホール）

大ホールは全1486席、小ホールは全592席をご用意しています。どちらも多様な催しにご利用いただけます

「練馬文化センター」は昭和58（1983）年に、2つの多目的ホールを擁する文化施設として開館しました。当館の最大の特徴は、練馬駅から近いという点と、大ホール、小ホールともに、演劇から音楽まで幅広いジャンルに対応し、プロ、アマチュア問わずご利用いただけるという点です。劇場ホールを初めて利用される方でも、プロのスタッフのサポートがありますので、安心して利用できるというのも、当センターのウリの一つと言えます。このほか、リハーサル室、洋室、和室、展示ギャラリーもあって、劇場ホールとしての役割だけでなく、練習、会議、絵画や書道の展示などにも活用いただけます。練馬区内で育った方は、子供の頃に学校で利用したことがあるなど、思い出の場所の一つでもあるかと思います。一方の「大泉学園ゆめりあホール」ですが、こちらも駅近で、複合ビルの3フロア分を利用している全176席のコンパクトなホールです。音がきれいに反響することもあり、音楽の発表会や練習、講演などに適しているといえます。どちらの施設も本格的な設備でありながら、身近な存在で、気軽にご利用いただける文化施設となっておりますので、どんどん足を運んでいただきたいですね。（佐藤）

2つの施設では、年間を通じてさまざまな催しものを行っています。当協会ではそれらを一から企画したり、ホールを飛び出して地域との連携事業などを行ったりしています。大人向けの公演だけではなく、小中学生のための歌舞伎塾、毎年夏には練馬区内の小中学生参加ミュージカルなど、お子様も楽しんでいただけるイベントも多く実施しています。特に今年度は「ねりぶんこども未来プロジェクト」「ねりぶん伝統文化プロジェクト」「ねりぶんミュージックプロジェクト」を3本柱に、練馬文化センターを中心とした芸術鑑賞の機会や参加型のワークショップを企画、実施していきますので、今までとは違う目新しいもの、かつ心にひびく事業をご期待いただければと思います。（鈴木）

大泉学園ゆめりあホール

楽器の生演奏や肉声に適した音響効果をもつホールです

7階の廊下部分を活用したギャラリーは、平面作品や小さな造形作品展示に向いています

公演事業係
鈴木 美保さん

管理係
佐藤 大輔さん

見るだけじゃないからおもしろい
練馬をまるごと学べる施設

●石神井公園ふるさと文化館

2階常設展示室

当館は、平成22(2010)年に開館しました。練馬区の歴史や伝統文化、自然について、さまざまな体験展示を通じて学ぶことができます。1階にある「わがまち練馬情報コーナー1」では、館周辺で見られる動植物、区の名所や散歩コースの紹介や、顕微鏡で実際に植物などをのぞいてみたり、練馬のクイズに挑戦したりすることができるコーナーなどがあります。2階には、自由に閲覧・学習できる交流ライブラリー、常設展示室では練馬大根の大樽展示や、昔の農具に触れたり、復元された昭和の住宅に入ることができたりと、ただ見学するだけではなく、体験を通じて、楽しんでいただける展示がいっぱいです。また、3ヵ所ある会議室は、館の事業で使用する他、講演会やさまざまな文化活動の場として、皆様に幅広くご利用いただけるスペースとなっています。館内には、緑のベストを着用したサポーターさんがいますので、わからないことがあったら、声をかけてみてください。

隣接する練馬区立池淵史跡公園にある「旧内田家住宅」

管理係
新川 晃代さん

ねりまと縁のある文化人を知り、
オーディオの生音に聴き入る

●石神井公園ふるさと文化館 分室

五味康祐の遺品を練馬区が一括して受け入れ、約2万点所蔵しています

学芸員
川崎 恭子さん

分室は、練馬区ゆかりの文化人に関する展示と、音楽・音響事業を主な柱として、平成26(2014)年に開館しました。当館の見どころは大きく3つあります。一つ目は建物です。既存の施設をリニューアルしており、エントランスや、ステンドグラスなど、随所に施された豪華な内装はとても見ごたえがあります。二つ目は、1階にある展示室の、作家・檀一雄の書斎再現コーナーです。建具や天井など書斎のほとんどをそのまま使用して再現しています。三つ目は、2階にある、芥川賞作家であり、「オーディオの神様」といわれた五味康祐の関連展示です。遺品の展示はもちろんですが、毎月第4土曜日に行われるレコードコンサートは必聴です。五味の遺愛品で、スピーカーの名機といわれる「タンノイオートグラフ」を使っています。毎週火・木曜日の午前と午後には、メンテナンスのために音出しをしていますので、こちらで聴くこともできます。

1階にある「練馬区ゆかりの文化人」展示室

美術ファンも納得の幅広い展覧会
子供も大人も楽しめる美術館

●練馬区立美術館

企画展の様子

「練馬区立美術の森緑地」には、20種類32体の彫刻があります

学芸員
真子 みほさん

当館は昭和60(1985)年に開館し、昨年で30年目を迎えました。日本の近・現代美術を中心に斬新な視点・切り口で年5回程度の企画展を開催しています。所蔵品は寄託を含め約6,700点。近年は日本近世や西洋美術の展覧会・所蔵品も増え、ますます充実しています。建物は1階が練馬区立貫井図書館、2・3階が美術館です。館内には企画展を行う3つの展示室の他に、個人やサークルの創作と展示発表スペースとしてご利用いただける、創作室と区民ギャラリーがあります。創作室は美術館主催の講座やワークショップなどの会場にもなります。屋外には「練馬区立美術の森緑地」があります。昨年「幻想美術動物園」としてリニューアルしました。緑地内には動物を中心としたカラフルな彫刻を20種類32体設置しており、晴れた日にはたくさんの方で賑わっています。また美術館では、展覧会ごとに学芸員によるギャラリートークやロビーでのコンサートなど、さまざまなイベントも行っていますので合わせてお楽しみください。

日程 毎月第3水曜日　時間 12:15～12:45　場所 練馬区役所1階 アトリウム

アトリウムミニステージ　無料

4月

日程 4月8日(金)　時間 19:00～　場所 大泉学園ゆめりあホール　※未就学児入場不可

演奏家協会コンサート **中井恒仁＆武田美和子 ピアノデュオリサイタル**　完売御礼

日程 4月20日(水)　時間 19:00～　場所 練馬文化センター 小ホール

万作・萬斎狂言の会 ～素袍楽・六地蔵～　完売御礼

5月

日程 5月3日(火・祝)　時間 14:00～14:45　場所 光ヶ丘四季の香ローズガーデン

まちなかコンサート vol.12 in 光ヶ丘　無料

日程 5月14日(土)　時間 17:00～19:00　場所 練馬文化センター 大ホール　※未就学児入場不可

没後20年特別企画
武満徹ソングブック・コンサート2016 ショーロクラブ with ヴォーカリスタス and 谷川俊太郎

S席5,000円、A席4,000円／ショーロクラブ、アン・サリー、谷川俊太郎(朗読)ほか

ココがおすすめ！　アン・サリーさん、畠山美由紀さんらの生演奏に加え、谷川俊太郎さんの朗読まで！日常を忘れてしまうような、贅沢なコンサートです。

日程 5月15日(日)　時間 午後　場所 大泉学園 グランエミオ1F

まちなかコンサート Vol.13 in 大泉学園　無料

日程 5月20日(金)～22日(日)、6月24日(金)～26日(日)　時間 13:00～予定　場所 練馬文化センター 小ホール

第31回練馬区新人演奏会出演者選考オーディション　無料／声楽・木管楽器・弦楽器部門

6月

日程 6/11(土)　時間 14:00～　場所 大泉学園ゆめりあホール

第46回ゆめりあワンコイン・コンサート
もうすぐ夏がやってくる！木管五重奏のSummer Music!　全席自由500円※4月9日(土)予約受付開始／井山夏実(クラリネット)ほか

日程 6/15(水)　時間 19:00～　場所 練馬文化センター 小ホール

大谷康子理事長就任記念 **みどりの風吹くまちに ～トーク＆スイーツコンサート～**

©尾形正茂

全席指定:2,000円※4月23日(土)予約受付開始／大谷康子(ヴァイオリン)、前川燿男練馬区長ほか

日程 6/17(金)　時間 18:30～　場所 練馬文化センター 小ホール　※未就学児入場不可

第136回練馬区民寄席～三遊亭金馬・桂歌丸～　全席指定3,000円／三遊亭 金馬、桂 歌丸 ほか／共催:(一社)落語協会

日程 6/22(水)　時間 19:00～　場所 練馬文化センター 小ホール　※未就学児入場不可

歌舞伎プレセミナー

ココがおすすめ！　これを聴くと、歌舞伎が２倍にも３倍にも…いいえ、何倍もおもしろくなります。やっぱりプロの視点は違います。目から鱗のお話が満載です！

全席自由500円／葛西聖司

葛西聖司
(かさいせいじ)

チケットを購入する方法

電話で購入　☎03-3948-9000　練馬文化センター 予約受付専用　10:00～20:00
※チケットは、窓口および郵便振替にてお引取りいただけます。

窓口で購入
- 練馬文化センター１階チケットカウンター
- 大泉学園ゆめりあホール５階事務室受付

10:00～20:00
※予約受付開始日の翌日午前10時から、窓口での販売およびお引換えします。

練馬文化センター友の会のご案内

- 特典1　文化センター情報誌を毎月お届けします！
- 特典2　チケットが10%お得になります！　※公演による
- 特典3　人気のチケットを一般発売前に優先予約！　※公演による

有効期限:1年間　年会費:2,000円
問合せ／練馬区文化振興協会 ☎03-3993-3311

4月

没後50年“日本のルソー” 横井弘三の世界展

会期 4月17日(日)～6月5日(日)

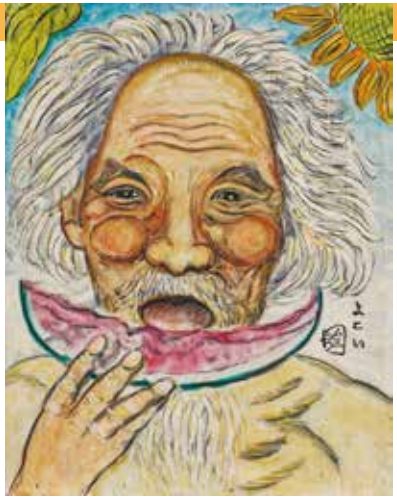
“日本のアンリ・ルソー”とも呼ばれた横井弘三(よこい・こうぞう 明治22(1889)～昭和40(1965)年)の作品は、人をおもわず微笑ませるのびやかさが魅力です。本展では、人まねではない自分だけの表現を求めて漆絵や焼き絵など多彩な技法で描いた横井の作品200点を一堂に会し、いまだ明らかでない横井の画業の全貌に迫ります。

時　間　10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日　月曜日
観覧料　一般800円、高大生および65～74歳600円、中学生以下および75歳以上無料、その他各種割引あり ※要年齢等確認証

共催:読売新聞社・美術館連絡協議会

ココがおすすめ！
子どものための本の挿絵や装丁も手がけた横井さん。なぜか手足が生えたお菓子や、かわいらしい玩具をたくさん描いています。

横井弘三《クジラのオモチャ》1925年頃／個人蔵


横井弘三《自画像》制作年不詳／個人蔵

5月

記念コンサート

関連イベント

[出演]佐橋美起(ソプラノ／武蔵野音楽大学准教授、二期会会員)、多田直子(ピアノ／武蔵野音楽大学附属高等学校、附属音楽教室講師)
●5月15日(日)15:00～／練馬区立美術館ロビー／事前申込不要、当日の観覧券が必要／専用座席50席、当日受付にて10:00～整理券を配布(先着順)

ギャラリートーク

関連イベント

[担当]黒田弘志、羽田睦美(「横井弘三とオモチャン会」会員)
●5月22日(日)14:00～／事前申込不要、当日の観覧券が必要

[担当]当館学芸員
●4月28日(木)14:00～、5月26日(木)14:00～／事前申込不要、当日の観覧券が必要

6月

練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術4
1990～2000年代 辰野登恵子《Untitled 92-8》を中心に

会期 6月10日(金)～6月26日(日)

ココがおすすめ！
さまざまな作家の作品を年代順に並べ展示します。大きな時の流れの中にいる感覚を体感してみてください。

練馬区立美術館の開館30周年に際し、連続して開催しているコレクション展の最終回です。
当館の所蔵品約6,700点(寄託作品含む)の中から、抽象画を追及した辰野登恵子を中心として1990～2000年代に制作された約40点の作品を紹介します。

時　間　10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日　月曜日
観覧料　無料

辰野登恵子《Untitled 92-8》1992年、油彩・カンヴァス

寺田真由美《fruitbowl 040803-1》2004年、ゼラチンシルバープリント

4月

5月

6月

ふるさと文化館

カメラ
昭和30年製造

収蔵品企画展
ねりま発！日本のアニメ

会期 4月23日（土）～6月12日（日）

練馬区は、国産初のフルカラー長編アニメーション映画「白蛇伝」、国産初の30分連続テレビアニメシリーズ「鉄腕アトム」が制作された「アニメのまち」です。日本のアニメーションの歴史と練馬区でアニメーション産業が発展した経緯、アニメーション制作技術のいまむかし等を紹介します。

時　間　9:00～18:00
休館日　月曜日
観覧料　無料

ココがおすすめ！
漫画映画の歴史を塗り替えた“第1号カメラ”を展示します！このカメラ、後のアニメ撮影用カメラと大きな違いがあります。それは何でしょうか？ 答えは会場で…

関連イベント

収蔵品企画展関連トークイベント
日本の長編アニメーションはここから始まった
［出演］小田部羊一（作画監督・キャラクターデザイナー）、なみきたかし（アニメーション史家）、相磯嘉雄（アニメーター・撮影監督）
●5月8日（日）14:00～16:00／参加費無料／石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室／申込方法：電話による事前申込（4月12日（火）9時より受付開始）

関連イベント

収蔵品企画展関連イベント
現役アニメーターによるアニメのお仕事体験（作画体験）
［講師］平松岳史（株式会社動画工房アニメーター）
●5月22日（日）13:00～14:00、14:30～15:30／参加費無料／石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室／申込方法：電話による事前申込（4月12日（火）9時より受付開始）

特別展「いぬいとみこ展（仮称）」

会期 6月25日（土）～8月14日（日）

練馬区ゆかりの児童文学者・いぬいとみこ（大正13（1924）～平成14（2002）年）の代表作や、区内で23年間に渡り子どもたちに開放した家庭文庫「ムーシカ文庫」の活動を紹介し、子どものための児童文学とは何かを問い続けた、いぬいの姿をお伝えします。

時　間　9:00～18:00
休館日　月曜日
観覧料　一般300円、高大生200円、65～74歳150円
中学生以下および75歳以上無料、その他各種割引あり

ふるさと文化館 分室

分室特別展
「作家と動物」

会期 4月9日（土）～6月26日（日）

本展では、江戸時代の『南総里見八犬伝』や夏目漱石の「猫」、「三毛猫ホームズ」、「ど根性ガエル」など作品に登場する動物たちや「動物文学」というジャンル、そして作家が愛した動物という3つの視点から、練馬ゆかりの作家を交えてその姿をご紹介します。作家や作品に親しんでいただきたい展覧会です。

時　間　9:00～18:00
休室日　月曜日
観覧料　無料

ココがおすすめ！
犬、猫、カラス、鷹、カニにうなぎまで登場します！

仔犬の哲子と
豚子を抱く
草野心平
昭和40（1965）年
写真提供／いわき市立
草野心平記念文学館

関連イベント

分室特別展関連公募写真展 **私の大切な動物**
●5月3日（火・祝）～5月15日（日）／参加費無料／石神井松の風文化公園管理棟2階多目的室
［応募締切］4月26日（火）必着
［申込方法］郵送かメールにて。①動物の名前②動物の種類③撮影者の氏名④住所⑤電話番号を、郵送の場合は写真の裏に、メールの場合は本文に記入（件名は「動物写真」）の上、締切日までに下記までお送りください。
［注意事項］
※データ、紙焼きの返却は致しません。　※おひとりさま1点まで応募可　※上記①～③を展示に添えて表示します。　※サイズは紙焼き＝はがきサイズ程度、データは1MB程度。　※人が写っている場合、本人が公開を了承しているものとします。

関連イベント

分室特別展関連講演会 **安吾と私とラモー**
［講師］坂口綱男（写真家・エッセイスト）
●6月4日（土）14:00～15:30／参加費無料／石神井公園ふるさと文化館分室2階 多目的室
［応募締切］5月6日（金）必着　［定員］100名
［申込方法］往復ハガキかメールにて。①講座名②参加者全員（2名まで）の住所・氏名（ふりがな）③電話番号を記入の上、締切日までに下記までお送りください。

●申込先
〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44
（石神井松の風文化公園管理棟内）
event-bunshitsu@neribun.or.jp

潜入！

来て、見て、参加して、楽しい！ねりぶん体験イベント

ねりぶんでは、子どもから大人まで一緒に楽しめるさまざまなイベントを、1年を通して開催しています。「参加したことがない！」「こんなイベントをやっているの!?」というイベントへ、レポーターが潜入取材しちゃいました！

不思議な絵のなぞなぞ？オリジナル判じ絵本作り

石神井公園ふるさと文化館では、毎週土曜日に子どもも大人も楽しめる参加型イベント「ふれあい土曜事業」が行われています。今回潜入したワークショップ「飾れるシャレた判じ絵本づくり」は、同館で平成28（2016）年1月30日（土）から3月21日（月・休）まで開催された特別展「なぞなぞ？ことばあそび!! 江戸の判じ絵と練馬の地口絵」に合わせて企画されたものです。

潜入1　飾れるシャレた判じ絵本づくり

《石神井公園ふるさと文化館》平成28（2016）年2月20日（土）

出題された判じ絵を解いて、正解を当てて判じ絵シールをもらい、オリジナル判じ絵本を作るという内容です。54名が参加され、初参加という親子も多くいましたが、サポーター（ボランティア）さんとの会話も楽しみつつ、時には難しい顔をしながら、時には軽く答えを見つけ出したりと、判じ絵の謎を解き明かす過程を楽しんでいました。またオリジナル判じ絵本作りでは、丁寧にシール貼りを行い、完成した本を手にして満足げな笑顔を見せる、子どもたちが印象に残りました。

ワークショップで遊んで舞台公演で、大感動！

続いてお邪魔したのは、ねりま子ども劇場さん主催「ねりま☆ふれあいこどもまつり」です。練馬文化センター内で1日中、さまざまな催しが行われました。

その一つ、「ありこさんのダンスワークショップ～トンガリNo・5～」では、総勢28名の親子が参加し、石丸有里子さんと一緒にダンスを楽しみました。軽く走ったり、ストレッチをしたり、エアケンカや、人影ものまねなど、楽しい動きを教わりました。子どもはもちろんですが、一緒に参加したお母さんたちが、とても張り切って、そして楽しげにダンスをしているのが印象的で、爽やかな笑顔であふれかえっていました。

もう一つの「北島愛子の『おり・かみしばい』」では、北島さんのトークと折紙芝居を一緒に楽しみました。こちらも親子連れ総勢51名が参加しました。折り方の説明に一生懸命に耳を傾けて、お父さんも、お母さんも子どもたちも全員、真剣な表情で折ることに集中していました。中には、どんどん先に進んでしまう子どももいましたが、周りのスタッフによる丁寧な指導のもと、小さな子どもも上手に折っていました。折紙芝居では、参加した子どもたちも積極的に演じ、和やかなムードのなか、お開きとなりました。

このほか、小ホールでは、劇団仲間出演による「空の村号～震災と原発事故を経験した村と家族の忘れてしまいたくない物語～」が、午前中の第1リハーサル室では、「～小森創介のはじめてのおしばい～どうぞのいす」が上演されました。

ねりま☆ふれあいこどもまつり　潜入2

《練馬文化センター》平成28（2016）年2月21日（日）

練馬区立
石神井公園
ふるさと文化館
Nerima Shakujiikoen Furusato Museum
分室

☎03-5372-2572

[住所] 練馬区石神井台1-33-44
石神井松の風文化公園管理棟内
（西武池袋線「石神井公園」駅下車、徒歩15分）

[FAX] 050-3352-2983

[開室時間] 9:00～18:00

[休室日] 月曜（祝日の場合は、翌平日）、年末年始、臨時休室日

[料金] 観覧無料

●練馬文化センター

☎03-3993-3311

[住所] 練馬区練馬1-17-37
（西武池袋線・西武有楽町線・都営大江戸線「練馬」駅下車、徒歩1分）

[FAX] 03-3991-9666

[休館日] 年末年始
（保守点検日は、一部施設のご利用ができません）

●大泉学園ゆめりあホール

☎03-5947-2351

[住所] 練馬区東大泉1-29-1
（西武池袋線「大泉学園」駅下車、徒歩1分）

[FAX] 03-5905-2021

[休館日] 年末年始
（保守点検日は、一部施設のご利用ができません）

練馬区立
石神井公園
ふるさと文化館
Nerima Shakujiikoen Furusato Museum

☎03-3996-4060

[住所] 練馬区石神井町5-12-16
（西武池袋線「石神井公園」駅下車、徒歩15分）

[FAX] 03-3996-4061

[開館時間] 9:00～18:00
（会議室の利用は、21:30まで）

[休館日] 月曜（祝休日の場合は翌平日）、年末年始、臨時休館日

[料金] 常設展示は観覧無料（特別展は有料）

練馬区立美術館
NERIMA ART MUSEUM

☎03-3577-1821

[住所] 練馬区貫井1-36-16
（西武池袋線「中村橋」駅下車、徒歩3分）

[開館時間] 10:00～18:00
（入館は17:30まで）

[休館日] 月曜（祝休日の場合は翌平日）、年末年始、展示替えなどによる準備期間中

[料金] 展覧会により異なる（中学生以下、および75歳以上無料）

理事長就任のごあいさつ

大谷康子 おおたに やすこ

このたび、（公財）練馬区文化振興協会の理事長に就任しました、ヴァイオリニストの大谷康子でございます。私は、長く住んでいるこの練馬区で、多くの方々に本物の文化芸術をお届けしたいと考えております。みどり豊かな練馬区で、たくさんの文化芸術が花開き、それが人とまちの豊かさにつながるよう、誠心誠意尽力して参りたいと存じます。今後とも変わらぬ温かいご支援ご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

©尾形正茂

発行
公益財団法人
練馬区文化振興協会

練馬区練馬1-17-37
☎03-3993-3311
[FAX] 03-3991-9666

発行日／平成28（2016）年4月1日